

TOP MESSAGE

はじめに

2011年3月11日に発生した東日本大震災に際しましては、被災者の皆さまに心からお見舞いを申し上げますとともに、一日も早い復興をお祈り申し上げます。また、復興に向けて懸命の努力を続けておられる関係者の皆さまには、心から敬意を表する次第です。2011年度のガス業界の活動は、この震災に伴う東北地方のガス事業者のガス供給復旧支援に始まり、その活動を通して「ガスを安定して安全にお客さまにお届けする使命」と「全国のガス事業者のエネルギー事業者としての連帯」の重要性を再確認いたしました。このことを念頭に置き、広島ガスグループは当社経営理念の一層の実現に向けて、一生懸命努力してまいり所存です。

公益企業としての社会的責任

広島ガスグループが果たすべき社会的責任とは、「地域社会から信頼される会社をめざす」という経営理念に基づき、公益企業としてエネルギーの安定供給と保安の確保を柱とした事業活動を展開していくことであると考えております。

CSR(企業の社会的責任)には、「経営」、「環境」、「社会」の3つの側面があります。当社グループは、経営的側面ではエネルギーの安定的かつ安全な供給と外部環境の激しい変化に対応しうる経営計画の策定・実施を、環境的側面ではクリーンエネルギー天然ガスの普及・拡大等の事業活動を、社会的側面では社会貢献活動および的確・迅速な情報発信を推進しております。

エネルギーセキュリティを重視した低炭素社会実現への貢献

東日本大震災を契機として、エネルギーセキュリティの重要性が再認識されており、供給安定性と環境性に優れた天然ガス・LPGのガス体エネルギーは、さらに重要なエネルギーとして位置づけられ、一層ニーズが高まっていくも

のと考えております。

エネルギーセキュリティを重視した低炭素社会実現に貢献するためには、次の二つの方法があると考えております。

一つ目は、ガス体エネルギーを普及・拡大させることです。

当社供給エリア内外において、ガス体エネルギーのご提案を一層展開することにより、エネルギーの分散化を図り、エネルギーセキュリティ確保に寄与してまいります。

二つ目は、分散型電源を普及・拡大させることです。

これまでガスエンジン、ガスタービン等による業務用の「ガスコージェネレーションシステム」、家庭用ガスコージェネレーション「エコウィル」の普及を図ってまいりました。これらに加えて家庭用燃料電池システム「エネファーム」の普及・拡大に努めるとともに、「エコウィル」、「エネファーム」と太陽光発電を組み合わせた「ダブル発電システム」の積極的な提案を通じて、大規模系統電源による電力供給システムを補完するエネルギーのベストミックス利用を一層推進してまいります。

エネルギーの逼迫が懸念される今日において、これらオンサイトのエネルギーシステムは、その高効率、省エネルギーの特徴を活かし、社会のニーズに応えていけるものと確信しております。



地域好感度No.1企業グループをめざして

また、地域に根差した当社グループが、持続的に発展していくためには、地域の活性化が不可欠であると認識しております。エネルギー供給の着実な遂行に加え、お客さまや地域の皆さまとのふれあいを大切に、地域の芸術、文化、教育、スポーツ分野等における社会貢献活動や、生物多様性にも配慮した環境保全活動を一層充実させていきたいと考えております。

コンプライアンスの取り組みでは、グループ全体におけるコンプライアンス意識の徹底とリスクマネジメント体制の強化や、風通しの良い職場環境の構築による公正かつ透明性の高い事業運営に努めてまいります。

皆さまには、本報告書をご一読いただき、当社グループの取り組みをご理解いただくとともに、忌憚のないご意見・ご感想をお聞かせいただければ幸いです。

このような取り組みを着実に推進していくためには、当社グループの「心・技・体」の一層の充実を図ることが大切であると考えております。

当社グループの「心・技・体」とは、経営理念を指す「心」、2009年10月に策定した2020年ビジョンを受けたビジョン実行中期経営計画や事業戦略を策定・実行する「技」、グループ役職員の現場力である「体」を意味しております。いずれも基本となるのは、役職員の前向きで、明るい、元気なパワー（現場力）です。

当社グループの役職員は、これらの思いを胸に業務に精励し、「地域好感度No.1企業グループ」として、すべてのステークホルダーの皆さまから信頼され、選ばれ続ける企業グループをめざしてまいります。

2011年8月
代表取締役 社長執行役員

田村 豊 浩